

は し めい 葉っぱの 使命

おお き
大きな サトウカエデの 木から、きれいな
きんいろ は お
金色の 葉っぱが 落ちてきました。葉っぱは
かせ の みぎ ひだり
風に 乗って、右に 左にと ゆられながら、
ゆっくりと じめん つ
ゆっくりと 地面に 着きました。今は 秋。
かエデの き は お きせつ
カエデの 木が 葉っぱを 落とす 季節です。

きれいな は なか またち
きれいな 葉っぱの ゴールデンは、仲間達と
いっしょに き えだ うえ しあわ とき
いっしょに 木の 枝の 上で 幸せな 時を
す たいよう ひかり う
過ごしました。太陽の 光を さんさんと 受けて、
かエデの き ようぶん おく き うつく
カエデの 木に 養分を 送り、木が 美しく
りっぱ せいちょう たす いま
立派に 成長するのを 助けてました。今、
ゴールデンと なかま は たち もり じめん
ゴールデンと 仲間の 葉っぱ達は、森の 地面に
よこ
横たわっています。



(これまで ^{かみさま}神様は、^{たち}ほく^{たいよう}達が ^{ちから}太陽の力を
と ^き取りこんで、^{じゅえき}木が ^{つく}樹液を作るのを ^{てつだ}手伝うように
^{もち}用いてこられたよね。その ^{じゅえき}樹液が ^{らいねん}来年の ^{はる}春には
^{さいしゅ}採取されて、おいしいシロップになるんだね！
^{のう}農夫の ^{むすこ}息子さんが、そのシロップを ^{ちやうしょく}朝食の
ワッフルに ^たかけて ^た食べるのが ^{だいす}大好きだって
^い言っていたなあ。今度は ^{こんど}地面の上で、^{しめん}神様は
^{たち}どんなふう ^{つか}に ^{つか}ほく^{つか}達を使っ ^{つか}て ^{つか}くださるんだらう?)
と ^{おも}ゴールデンは ^{おも}思っていました。

するとそこへ、^{のう}農夫の ^{こどもたち}子供達 ^{ふたり}が 2人、やっ ^きて
来ました。うれしそうに ^きスキップしながら、
^て手には ^{ちい}小さな ^もバケツを ^も持 ^{あいだ}って。冬の間
^{とりたち}鳥達が ^た食べられるように、^{たい}エサ台に ^お置く
^{たね}種 ^もエサを ^き持 ^きって ^き来たのです。ベツィの
^いバケツから、^{いちぶ}エサの ^{しめん}一部が ^お地面に ^おこぼれ ^お落ち
ました。そして、^おゴールデンの ^おすぐ ^おそば ^おまで
^{ころ}転 ^きが ^きって ^き来 ^きました。すると ^{かぜ}そよ ^{かぜ}風 ^{かぜ}が ^{かぜ}ふ ^{かぜ}いて ^{かぜ}きて、
^{ころ}ゴールデンを、^{ころ}転 ^{たね}が ^{たね}つ ^{たね}て ^{たね}きた ^{たね}種 ^{たね}の ^{たね}上 ^{たね}に ^{たね}そ ^{たね}う ^{たね}つ ^{たね}と
^{ちい}お ^{ちい}し ^{ちい}や ^{ちい}り ^{ちい}ま ^{ちい}した。 ^{たね}小 ^{たね}さ ^{たね}な ^{たね}種 ^{たね}と ^{たね}ゴ ^{たね}ー ^{たね}ル ^{たね}デ ^{たね}ン ^{たね}は、
^{あき}秋 ^{あき}と ^{あき}冬 ^{あき}の ^{あき}間 ^{あき}、 ^{あき}ず ^{あき}つ ^{あき}つ ^{あき}と ^{あき}寄 ^{あき}り ^{あき}そ ^{あき}つ ^{あき}て ^{あき}い ^{あき}ま ^{あき}した。



はる 春が やって 来 ました。 今 まで ゴールデンの かげで
まも 守られていた ちい 小 さ な たね 種 は、 みどりいろ 緑 色 の ちい 小 さ な め 芽 を 出 しました。
そして どん どん せい 成長 すると、 かわいらしい きいろ 黄 色 い はな 花 を
さ かせ ました。 なが 長 い ふう 冬 の 間 ゴールデンが まも 守 っ て き た
ちい 小 さ な たね 種 が、 今 だ は み 見 事 な はな 花 を さ かせ て い る の で す。
また も や かみさま 神 様 は、 ちい 小 さ な も の や ちい 小 さ な おこな 行 い を 用 い て、
この せ かい 世 界 に うつく 美 し い も の を も たら して ぐ だ さ い ま した。

ですから、たとえあなたがちい 小 さ く て も、
この せ かい 世 界 を よ り よ い も の に す る た め に、
かみさま 神 様 が あ な た を 用 い る こ と の で き る ほうほう 方 法 は
い くら で も あ る の で す。

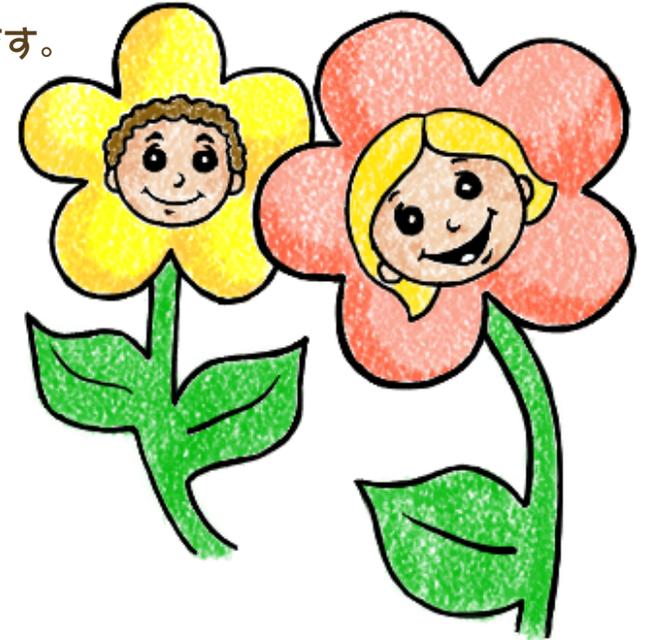
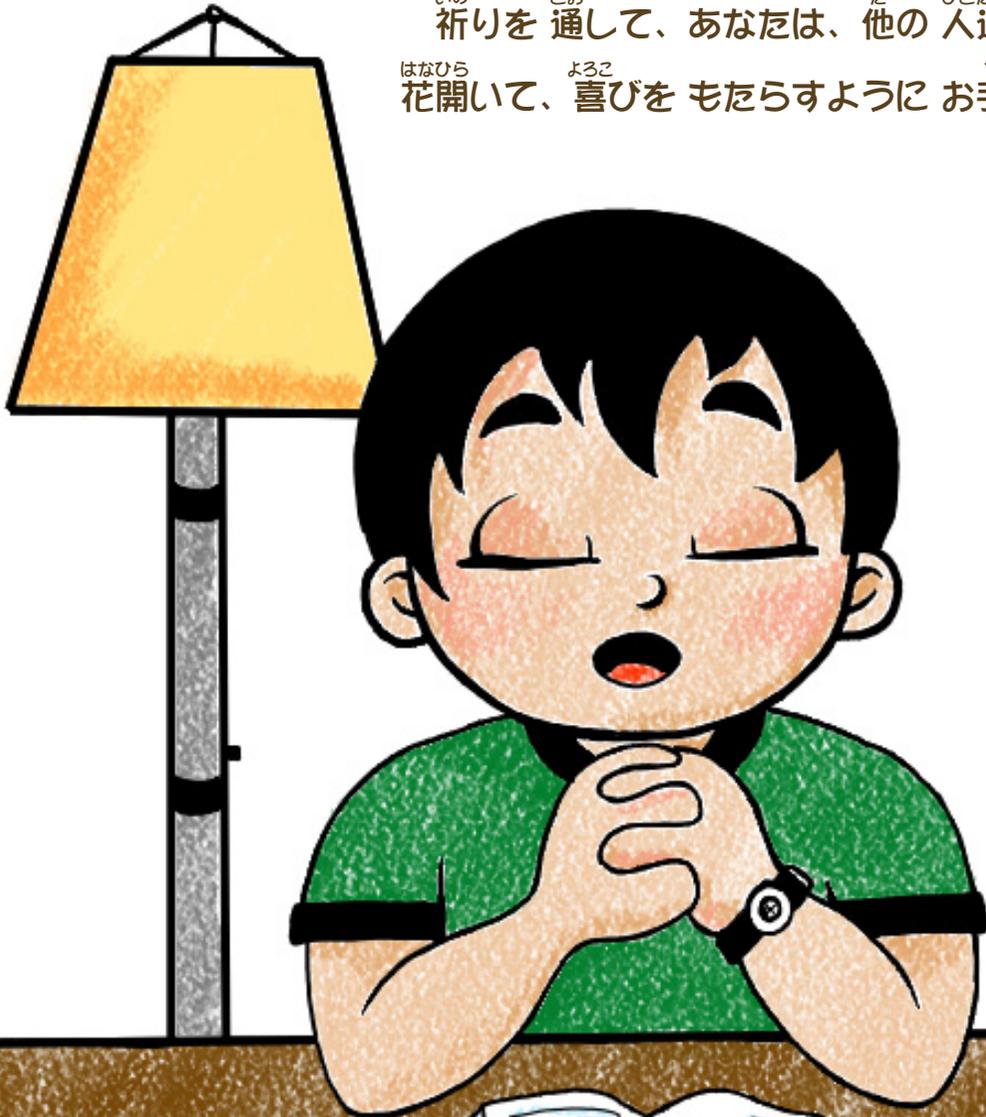


あなたが ^た他の ^{ひとたち}人達を ^{たす}助けられる ^{とくべつ}特別な ^{ほうほう}方法の ^{ひと}一つとは、^{かみさま}神様の ^{あい}愛が ^{ひとたち}その人達の ^く暮らしに ^{あらわ}表されるようにと、

^{いの}祈りの ^{おい}おいを ^{かけてあげる}かけてあげる ^{こと}ことです。

^{いの}祈りを ^{とお}通して、あなたは、^た他の ^{ひとたち}人達の ^{じんせい}人生で ^{かみさま}神様の ^{あい}愛の ^{たね}種が ^{せいちょう}成長し、

^{はなひら}花開いて、^{よろこ}喜びを ^{もたらす}もたらすように ^{てつた}お手伝いする ^{こと}ができるのです。



「すべての ^{ひとひと}人々の ^{ため}ために、^{ねが}願いと、^{いの}祈りと、^{とりなし}とりなしと、

^{かんしゃ}感謝とを ^{ささげ}ささげなさい。」

^{こうごやくせいしょ}(口語訳聖書、^{ていいち}テモテへの ^{てがみ}第一の手紙 2:1)

作者：不明 絵：エイリーン
デザイン：ステファン・ミラー
出版：マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2015年、
ファミリーインターナショナル
"A Leaf's Mission"--Japanese
関連の読み物はこちら ⇒ 祈り